

太陽が地平線や水平線下に沈む時は、それ自体が誠に劇的な現象と言えます。その現象を表現する語彙も「日没」「日の入り」「落日」など、たくさんあります。しかし特別な条件の時には、更に神秘的な現象が見られることがあります。その一つが「グリーン・フラッシュ」と呼ばれる現象です。

太陽の視直径は約 0.5 度です。この数値は、南中時でも日の出や日没時の地平線に近い時も変化はありません。日没時の太陽が大きく見えるのは、錯視 (目の錯覚) です。天球上の天体は、地球の自転 (日周運動) によって、1 時間で視角度約 15 度、つまり 4 分で 1 度移動します。これは月や太陽も例外ではないので、太陽の直径 0.5 度分を太陽自身が移動するのに、約 2 分かかります。日没時に太陽の下端が地平線や水平線に接してから、太陽の上端が完全に沈むまでの時間も約 2 分ということになります。

グリーン・フラッシュは、この 2 分間の最後の最後、まさに太陽本体 (光球) が沈む寸前の数秒間だけ見られる現象です。沈む寸前のわずかに残った太陽が、緑色に見えるのです。地平線や水平線近くに建物や山があると観察されず、空気が澄んでいないと見えません。

この日は内房線の浜金谷駅 (はまかなやえき) の跨線橋から、美しい夕日が見えました。条件的にグリーンフラッシュが期待されたので、もちろんカメラを構えました。確かにグリーン・フラッシュが見え、動画でも一瞬緑色の光が映っています。しかし残念ながら、ピントが合っていませんでした。これは、もう一度浜金谷駅で挑戦ですね。

(2025 年 2 月下旬 / JR 内房線・浜金谷駅)

